



任意団体 国際自然保護連合 日本委員会

2020年 第7回世界自然保護会議 (IUCN World Conservation Congress) の誘致活動を通じた愛知ターゲット達成に 資する活動底上げとプラットフォーム構築

一般助成

2年目

知識の提供・
普及啓発

勉強会
参加人数

140人

にじゅうまる
プロジェクト宣言数

486宣言

活動の全体目標に
対する達成度

65%

課題

- ①愛知ターゲット達成に向けた風潮が出来ていない。
- ②活動への注目度が低下していること。
- ③促進された活動の広報の場、行動の発展に繋げる場が不足していること。

活動内容

生物多様性、気候変動、持続可能な開発などをめぐる、「2020年」の国際的な重要性を学び、それに合わせた活動の検討を行うため、全5回の勉強会を実施した。

5回の勉強会のうち、4回は講師を招へいする形式、最終回はワークショップ形式とした。2020年にふさわしい取組みの検討を行うにあたり、主な参加者の業務分野である「生物多様性」のみならず、広く気候変動や持続可能な開発との関連性について学んだ。



取組みの成果資料

今後の課題

取りまとめた成果を活用し、今後の事業を実施するにあたり、団体内での合意形成や、団体としての基盤整備が必要となる。これを固めていく事が今後の課題となる。

成果と工夫した ポイント



成果

勉強会の開催を通じ、今まで関わりの薄かった若手社会人との交流が生まれた。また、自然保護分野の人があまり関わりを持たなかった、経済や持続可能な開発等の理解が深まり、今後の事業の方針をさぐる糧となった。

工夫

勉強会対象者である、若手NGO職員・若手社会人の参加を促すため、平日夜2時間の開催とした。